

平成23年度第1回疫学研究に関する審査検討会 議事要旨

日時：平成23年9月27日（火）10：00～12：00

場所：経済産業省別館8階825会議

参加者：

検討委員：西間座長、有田委員、小幡委員、河原委員、崎田委員、祖父江委員、辻委員、南委員

事務局：環境保健部 佐藤部長

環境リスク評価室 戸田室長、森室長補佐

保健業務室 加藤室長、渡辺室長補佐、久保係長

参考人：日本科学技術振興財団、いであ株式会社

議事内容

(1) 座長選出

互選により、西間委員が座長に選出された。

(2) 座長の代行・迅速審査の追加について

座長不在時の代行として、辻委員が選任された。

迅速審査の委員として、新美委員、祖父江委員が選任された。

(3) 審査

尿中ベータツーミクログロブリン高値持続者に対する個別健康調査

- ・事務局より調査目的、調査概要、調査協力依頼文書等について説明。
- ・実施計画書および調査説明書に平成24年度以降の個人情報の取り扱いや問い合わせ先について確認があり、不明確な点については明記すべきと指摘された。
- ・上記について対応することを前提として、適と判断された。

ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究事業にかかる診療記録写等

データベースの作成業務

- ・事務局より調査目的、調査概要、調査協力依頼文書等について説明。
- ・調査の目的について、科学的妥当性の観点を踏まえてより明確にするよう指摘があった。
- ・依頼文書について、研究の目的を理解しやすい記述に追加修正するよう指摘があった。
- ・倫理的観点からの問題は特に認められず、上記について対応することを前提として、適と判断された。

ダイオキシン類をはじめとする化学物質の人への曝露量モニタリング調査

- ・事務局より計画書、調査協力依頼文書、質問票、また昨年度調査との変更点について説明。
- ・計画書の調査対象者の考え方について確認があった。
- ・質問票について、単位の記載、表現方法について指摘があった。

- ・倫理的観点からの問題は特に認められず、上記について対応することを前提として、適と判断された。

その他【子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）（報告）】

- ・平成 22 年 8 月に「適」と判定された「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」について、その後の環境省の取組及び調査の進捗状況を報告した。
- ・臍帯血バンクに参加する妊婦のさい帯血は、エコチル調査には用いないこと、さい帯血バンクへの影響について定期的に確認していくことなど、両事業の連携の状況について報告した。
- ・東日本大震災における原発事故の放射線による影響について、エコチル調査の調査設計や他の調査の状況を踏まえ、放射性物質が子供の健康に与える影響の解明に貢献ができるかどうかについて、さらに検討することについて説明した。

以上